

平成28年度

公立大学法人静岡文化芸術大学  
事業報告書

# 平成 28 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

平成 28 年度の事業については、第 2 期中期計画の初年度であることを踏まえ、その達成に向けて、第 1 期中期計画の事業内容と進捗状況を検証し、本学の将来を見据えて、教育の充実、学生支援の充実、研究の推進、地域貢献及び国際交流の推進、FD・SD 活動の推進等を重点に置いて、次のとおり実施した。

## 1 法人運営管理

### (1) 役員会、経営審議会、教育研究審議会及び参与会の開催等

#### ア 役員会

役員会を 13 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第 1 回	4 月 20 日	・ 理事長の専決処分の承認について
第 2 回	5 月 25 日	・ 静岡文化芸術大学自己点検・評価委員会規程の一部改正について ・ 専任教員の採用募集（公募）について ・ 非常勤講師の委嘱について ・ 受託事業について
第 3 回	6 月 22 日	・ 平成 27 年度 事業報告及び決算報告（財務諸表等）について ・ 平成 27 事業年度に係る業務の実績及び第 1 期中期目標（平成 22～27 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書 ・ 平成 28 年度 第 1 回収支補正予算（案）について ・ 受託事業について
第 4 回	7 月 13 日	・ 公立大学法人静岡文化芸術大学内部監査規程の一部改正及び実施要領の制定について ・ 非常勤講師の委嘱について ・ 受託事業について
第 5 回	8 月 10 日	・ 公立大学法人静岡文化芸術大学文書規則の一部改正について ・ 非常勤講師の委嘱について
第 6 回	9 月 14 日	・ 任期付教員の再任について ・ 受託事業について
第 7 回	10 月 12 日	・ 専任教員の採用について
第 8 回	11 月 9 日	・ 受託事業について ・ 非常勤講師の委嘱について
第 9 回	12 月 14 日	・ 平成 28 年度 収支補正予算（案）について ・ 平成 29 年度 予算編成基本方針（案）について ・ 給与関係規程の一部改正について ・ 将来構想検討委員会規程の一部改正について ・ 職員就業規則の一部改正について ・ 育児及び介護休業規程の一部改正について ・ 国立台湾師範大学国際興社会科学学院との交流協定締結について ・ 非常勤講師の委嘱について ・ 理事長の専決処分の承認について ・ 静岡文化芸術大学副学長の選任について

回数	開催日	議案等
第10回	1月18日	・理事長の専決処分の承認について
第11回	2月8日	・寄附金の取扱い及び基金の設置に関する諸規程の制定について ・英語特任講師の採用について ・非常勤講師の委嘱について
第12回	3月1日	・大学の組織設置に伴う関係規程等の制定及び一部改正について ・静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長の選任について ・受託事業について ・非常勤講師の委嘱について
第13回	3月24日	・平成29年度 事業方針（案）について ・平成29年度 年度計画（案）について ・平成29年度 事業計画（案）について ・平成29年度 当初予算（案）について ・平成28年度 収支補正予算（案）について ・有期契約職員に係る給与関係規程の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学公印規程の一部改正について ・研究に関する規程、要領等の制定について ・静岡文化芸術大学図書館・情報センター規則の一部改正について ・名誉教授の称号授与について ・非常勤講師の委嘱について ・平成29年度 特別研究費及びイベントシンポジウム開催費等の配分について

#### イ 経営審議会

経営審議会を5回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	5月25日	(協議事項) ・第1期中期計画（平成22～27年度）期間実績及び平成27年度 年度実績（案）について
第2回	6月22日	・平成27年度 事業報告及び決算報告（財務諸表等）について ・平成27事業年度に係る業務の実績及び第1期中期目標（平成 22～27事業年度）に係る業務の実績に関する報告書 ・平成28年度 第1回収支補正予算（案）について
第3回	12月14日	・平成28年度 収支補正予算（案）について ・平成29年度 予算編成基本方針（案）について ・給与関係規程の一部改正について
第4回	3月1日	(協議事項) ・平成29年度 事業方針（案）について ・平成29年度 年度計画（案）について ・平成29年度 当初予算（案）について
第5回	3月24日	・平成29年度 事業方針（案）について ・平成29年度 年度計画（案）について ・平成29年度 事業計画（案）について ・平成29年度 当初予算（案）について ・平成28年度 収支補正予算（案）について ・有期契約職員に係る給与関係規程の一部改正について

ウ 教育研究審議会

教育研究審議会を10回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	4月14日	・国際交流委員会設置要綱の改正について
第2回	5月12日	・本学を会場とする学会の開催申請について
第3回	6月2日	・第1期中期計画及び平成27事業年度実績について ・教育・FD委員会設置要綱の改正
第4回	7月7日	・客員研究員の受入れについて ・本学を会場とする学会の開催について
第5回	9月1日	(報告事項のみ)
第6回	10月6日	(報告事項のみ)
第7回	11月10日	・国立台湾師範大学国際社会科学学院との交流協定締結について
第8回	12月1日	(報告事項のみ)
第9回	2月2日	・寄附金の取扱い及び基金の設置に関する規程等の整備について
第10回	3月2日	・平成29年度事業方針(案)について ・平成29年度年度計画(案)について ・静岡文化芸術大学図書館・情報センター規則の改正について ・静岡大学情報学部との単位互換について ・3ポリシーについて

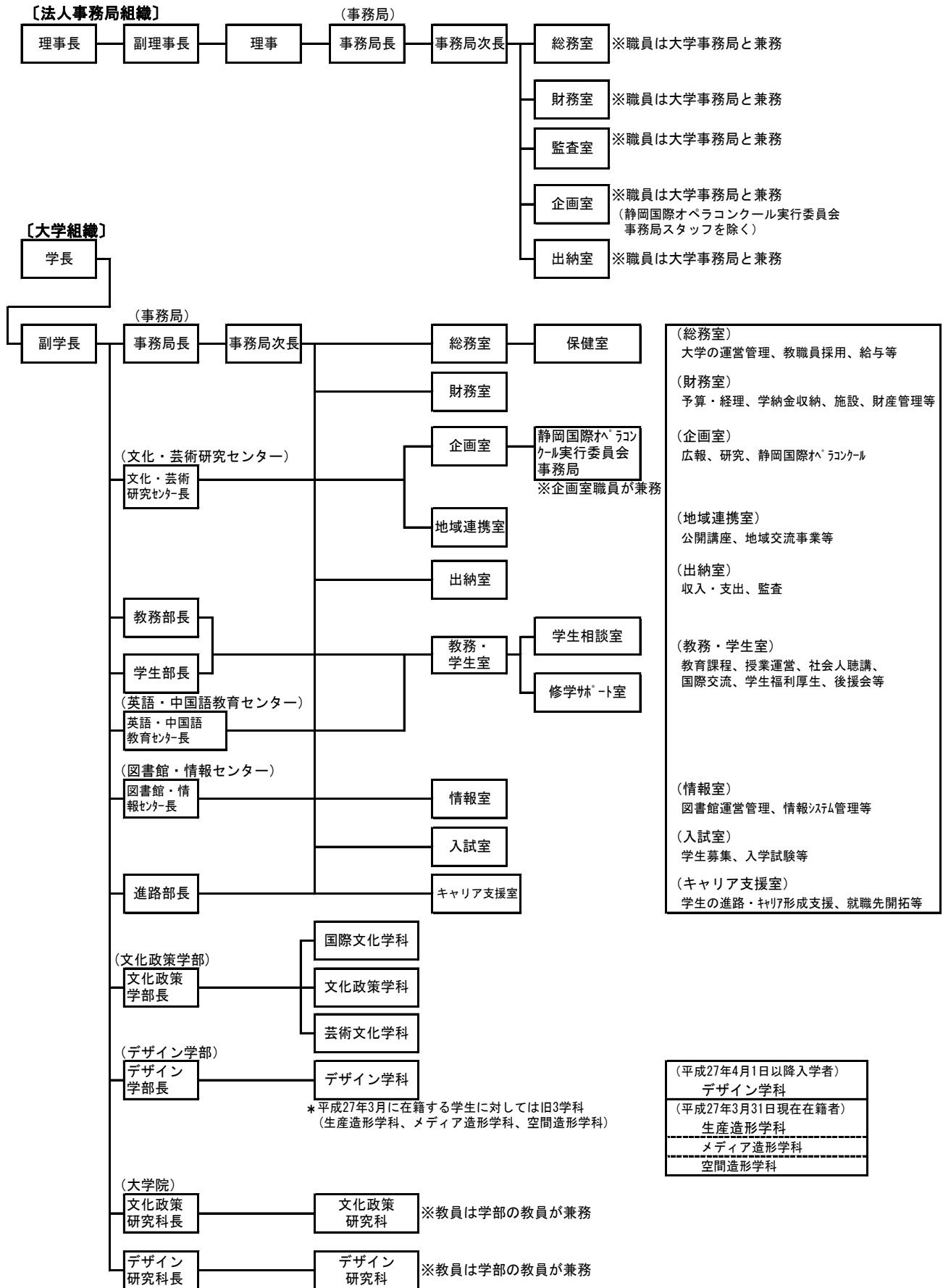
エ 参与会

法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を1回開催した。

区分	開催日	意見交換のテーマと提案された意見等
第1回	2月8日	<p>テーマ： 文化政策学部「観光学科（コース）」及びデザイン学部「匠領域」の設置の取組について</p> <p>主な意見： ・文化と芸術と結びついた観光や、政策と実務に結びついた地域開発は有効になると感じた。 ・質の高い観光を目指して欲しい。企業側も連携したい。匠の技術を理論や科学で説明はできる。大学ではその理論を教えてほしい。</p>

(2) 法人及び大学組織

法人及び大学組織としてそれぞれに職員を配置し、法人及び大学運営を執行した。



### (3) 運動場用地の借用等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地） ・面積：8,584 m<sup>2</sup>
- ・賃借料：無償

### (4) 教職員住宅の確保

#### ア 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町） ・戸数：25 戸

#### イ 借上住宅

ビオラ田町に入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、5 戸の借上住宅を提供した。

### (5) 校舎管理

ア 大学校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。

#### (ア) 主な委託業務内容

警備業務：24 時間体制の有人による警備

清掃業務：床、窓、トイレ等の定期的な清掃

設備管理：中央制御監視又は遠隔操作等による 24 時間管理体制、設備保守等は有人による管理

#### (イ) その他：電話、電気、消防用施設、昇降機、植栽等の管理業務を委託

#### イ 施設・設備の整備

更新の必要な時期を迎える施設・設備等のうち、冷暖房用熱源設備（1 基）のオーバーホールを実施した。また、今後定期的に対応すべき箇所を把握するため、施設・設備に係る劣化診断を実施した。

## 2 教育研究の実施

### (1) 授業実施等

#### ア 学生の状況（学部）

（平成 28 年 5 月 1 日現在）

学部名	学科名	定員 (人)	学 生 数 (人)						
			1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合 計		
							計	男子	女子
文化 政策 学部	国際文化学科	100	111	122	110	132	475	107	368
	文化政策学科	50	59	61	59	56	235	64	171
	芸術文化学科	50	60	57	57	62	236	31	205
	小計	200	230	240	226	250	946	202	744
デザ イン 学部	生産造形学科	40	—	—	47	55	102	29	73
	メディア造形学科	30	—	—	35	38	73	12	61
	空間造形学科	30	—	—	33	40	73	23	50
	デザイン学科	100	112	119	—	—	231	59	172
小計	100	112	119	115	133	479	123	356	
計		300	342	359	341	383	1,425	325	1,100

\* 平成 27 年 4 月から、デザイン学部 3 学科（生産造形学科、メディア造形学科、空間造形学科）をデザイン学科の 1 学科に再編した。定員は旧 3 学科を除く。

イ 学生の状況（大学院） （平成 28 年 5 月 1 日現在）

大学院	定員 (人)	院 生 数 (人)				
		1 年生	2 年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10	6	10	16	7	9
デザイン研究科	10	10	11	21	12	9
計	20	16	21	37	19	18

ウ 授業日程等

日 程	授業等
4 月 7 日	入学式
12 日	開学記念式（開学記念日：4 月 13 日）
13 日	前期授業開始
8 月 6・7 日	オープンキャンパス（参加数：2,945 人）
8 月 12 日	前期授業終了（集中講義等も含む。）
10 月 1 日	後期授業開始
11 月 7・8 日	碧風祭
2 月 19 日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3 月 15 日	卒業式

エ FD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組み

教育・FD 委員会において、組織的に教員の授業改善・教育の質の向上の意識啓発を図るとともに、効果的な FD 活動を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科 FD 研修会の実施
- ・FD ニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・授業に関するアンケートの実施
- ・卒業生アンケートの実施

オ 教育課程の改正等

- ・デザイン学部を「デザイン学科」1 学科に再編し、平成 28 年度から「領域」分けを行った。
- ・平成 27 年度入学生から学部新教育課程の 2 年目を運用した。
- ・地域社会と関わりながら地域課題への理解を深める「地域連携実践演習」には、前後期あわせて 44 のプログラムに対し、216 人がエントリーし、各プログラムの担当教員の指導のもと活動を行った。さらに、平成 28 年度から学生が主体的に地域に関するプログラムを行う「テーマ実践演習」がスタートし、3 プログラムが実施された。
- ・学部においては平成 27 年度入学生から、履修登録の上限単位数を定める「CAP 制度」と、成績評価の平均値を数値で示す「GPA 制度」を適用している。平成 28 年度は、2

年目の運用として運用に当たっての問題点の解決について検討し、実施した。

- ・新教育課程から、学部生に対して英語又は中国語で8単位取得（これまで4単位取得）することを卒業要件とし、英語においては科目数及びクラス数を倍増するとともに、より一層の語学教育の充実を図った。
- ・新教育課程から、TOEIC等の外部検定の結果を「外部検定A・B」（1単位）として単位認定するとともに、本学で実施している夏季語学研修や、学生が民間業者を利用した海外語学研修を「集中語学研修A・B」（1単位）又は「短期語学留学A・B」（2単位）として単位認定の対象とした。
- ・平成26年度から英語教育の教育効果測定を行う目的として、英語科目履修者にTOEIC・IPテストを実施し、平成28年度も継続して実施した。なお、平成26年度まで新入生全員にTOEIC・Bridgeテストを実施していたが、より正確な効果測定を行うため、平成28年度新入生全員にTOEIC・IPテストを実施し、今後も同テストを実施することとした。

カ 学籍・教務情報システムの活用

- ・平成25年度後期から導入した学籍・教務情報システムを活用して、Web履修登録、Webポータル、出席管理、課題レポート機能などの運用を行った。

(2) 科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

- ア 受入時期 年2回（出願時期 前期：2月、後期：8月）
- イ 受入人数 1科目につき5人程度
- ウ 履修科目 本学開設科目のうち、科目等履修生及び社会人聴講生公開科目
- エ 履修期間 原則6か月以内
- オ 受講者数 (人)

区 分	前 期		後 期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	0	0	0	0
社会人聴講生	157	190	134	173
計	157	190	134	173

(3) 研究生及び委託生の受入れ

- ア 入学時期 学年又は学期初め
- イ 研究期間 1年以内
- ウ 研究方法 指導教員の指導を受け、研究に従事する。
- エ 入学者数 (人)

区分		1年間	半年	備考
研究生	文化政策学部	0	0	
	デザイン学部	1	0	
委託生	文化政策学部	0	0	
	デザイン学部	0	0	
計		1	0	

(4) 社会人専門講座の実施

社会人専門講座としてエグゼクティブ・プログラムを実施した。（受講者3人）  
また、東京都及び奈良県において特別プログラムを実施した。（受講者 東京：17人、奈良：11人）



### (5) 教員研究の実施

学内特別研究費の配分方針に基づいた配分及び外部資金の活用等により、積極的な研究の推進を図った。

#### ア 学内特別研究費による研究

ユニバーサルデザイン等の3つの重点目標研究領域を設定し、組織的、戦略的な研究活動を推進するとともに、教員特別研究費による研究を実施した。

・教員特別研究費による研究件数 20件 配分額 22,468千円

#### イ 外部資金を活用した研究

科学研究費補助金を活用した研究を実施した。

・実施件数 32件 19,431千円

(新規採択3件、継続11件、他機関研究者との分担研究18件)

#### ウ 共同研究及び受託研究、受託事業

外部機関(企業)との共同研究を実施した。

・共同研究 5件 3,120千円

外部機関(企業・大学・自治体)からの受託研究、受託事業を実施した。

・受託研究 7件 4,980千円

・受託事業 14件 9,241千円

## 3 大学広報及び学生募集

本学に相応しい学生を確保するため、新聞掲載等の各種広報や学校説明会等の学生募集事業を実施した。

平成28年度入試の結果概要及び平成29年度入試の実施方法の周知を広報内容の重点とし、またオープンキャンパスにおいては、入試概要説明のコーナーや個別受験相談のコーナーを設置するなど効果的な広報を行い、参加者数は2,900人を超えた。

### (1) オープンキャンパスの実施

ア 開催日 8月6日(土)及び8月7日(日)

イ 事業内容 大学説明、学科説明、模擬授業、受験相談、実技講習会等

ウ 参加対象 高校生を中心とした受験生

エ 参加者数 2,945人

### (2) 高校訪問等

教職員が県内外の高校等を訪問し大学のPR等を積極的に行った。(延べ1,640件)

また、静岡県内国公立大学合同入試説明会(年間7回、三島・静岡・浜松・名古屋にて開催)に参加し、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点対象地区として積極的に広報を行った結果、当該地区から一定数の入学者を確保することができた。

・県東部地区 23人(H24)→28人(H25)→22人(H26)→23人(H27)→24人(H28)→26人(H29)

・愛知県 70人(H24)→75人(H25)→79人(H26)→64人(H27)→72人(H28)→68人(H29)

### (3) 広報媒体による大学広報

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口(入学者募集)・中身(教育研究、学生生活)・出口(就職支援)に係る広報を実施した。

### (4) パンフレット等の作成

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集等に加え、学生スタッフの制作による大学情報誌『SUAC! For YOU』を作成し、高校や予備校等に配付した。また、本学学生が授業や課外活動を通じて培っている「実践的な学び」をアピールするためのパンフレットを新たに作成した。

### (5) Webサイトによる情報提供

入試情報、イベント開催情報、研究活動情報などをWebサイトにより積極的に発信するとともに、Webサイトが見やすくなるよう、トップ画面や大学の概要が簡潔に分かるサイト「3分で分かるSUAC」のデザイン変更を行った。また、大学施設等を紹介するため「フォトギャラリー」を掲載した。

## (6) 大学院の学生募集

大学院文化政策研究科では、大学院進学を検討している大学生や社会人向けの入試説明会を本学及び東京で実施した。(本学：7/13、8/6、8/7、11/8 東京：11/5)

## 4 入学試験の実施

### (1) 学部学生

- ア 募集人員 300人(入学定員と同数)
- イ 募集方法 一般選抜(前期日程・後期日程)、特別選抜(推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試)
- ウ 試験時期

区 分		文化政策学部	デザイン学部
一般選抜	前期日程	2月25日、26日	
	後期日程	3月12日	
推薦入試		11月19日	
社会人入試		11月19日	
帰国生徒入試		11月19日	2月25日
外国人留学生入試		11月19日	2月25日

\*大学入試センター試験は、1月14日・15日 \*試験会場はすべて本学

### エ 入学試験結果

志願者数 1,861人(志願倍率 6.20倍)  
合格者数 399人、入学者数 350人

### (2) 大学院生

- ア 募集人員 20人(入学定員と同数)
- イ 試験時期

区 分		試験時期
A日程	デザイン研究科	7月23日
B日程	文化政策研究科	9月17日
C日程	デザイン研究科	2月11日
	文化政策研究科	

### ウ 入学試験結果

志願者数 24人(志願倍率 1.20倍)  
合格者数 16人、入学者数 15人

## 5 学生の支援等

### (1) キャリア・デザイン教育

- ア 大学生活スタートアップ講座、ブラッシュアップ講座の実施  
低学年からキャリア形成を図るため、1年生向けにはコミュニケーション能力やマナーを、2年生向けにはインターンシップの必要性を学ぶ講座を実施した。  
(1年生4回 延べ67人、2年生3回 延べ86人)
- イ インターンシップの実施  
3年生向けのインターンシップを実施した。(181人)  
就職活動が始まる前の段階から、「自分が目指したい将来の姿」を明確化できるよう、1、2年生向けにインターンシップを実施した。(13人)

## (2) 進路支援

＜第14期生の就職状況＞

(平成29年3月31日現在)

	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
文化政策学部	223	192	187	97.4
デザイン学部	112	87	85	97.7
計	335	279	272	97.5

### ア 個別面談の実施

3年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導と面談結果を踏まえた就職支援を実施した。(316人)

### イ 就職相談の実施

学生から寄せられる就職に関する各種相談に応じた。(通年)

### ウ 就職ガイドブック等の配布

就職活動の仕方などを記載した「就職ガイドブック」、内定者の報告をまとめた「就職活動体験記」を作成し、3年生及び教職員に配布した。

### エ 企業等訪問及び情報交換会等の実施

県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。なお、企業訪問を担当する専門職員により、愛知県等の県外企業への就職先の開拓や情報収集も実施した。

デザイン関係企業等の採用担当者を招き、教職員等との情報交換会を開催した。(28社)

### オ 求人依頼

静岡県内企業を中心に、求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。(全国4,509社)

### カ 就職ガイダンス等の実施

- ・学内就職ガイダンス (全7回)
- ・キャリア支援セミナー (企業を招いての業界研究) (全6回 延べ462人)
- ・地域別企業研究セミナー (県内、愛知県の企業を招いての研究) (全4回 延べ123人)
- ・合同会社説明会 (2日64社、延べ304人)
- ・浜松地域企業セミナー (愛知県、県西部地区の8大学合同実施) (28人)
- ・県外 (東京・名古屋) 就職ガイダンスバスツアー (延べ104人)

### キ 就職支援講座の実施

講座名	区分	受講者数(人)
公務員試験直前講座	教養科目	26
	専門科目	18
公務員試験対策講座	教養科目	54
	専門科目	33
パソコン MOS 試験対策講座		22
簿記3級試験対策講座		10
模擬面接・グループディスカッション講座		117

試験名	受験者数(人)
適性検査 (CAREER APPROACH)	274
エントリーシート攻略テスト	84
秘書検定学内団体試験	69

#### ク 求人情報等の案内

Web を活用した求人検索システムや、求人情報や各種就職関連情報をメールで伝達するシステムなどを活用し、学生への情報提供を行った。

#### ケ デザイン専門職への就職支援

デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について、ポートフォリオ講座を実施した。

#### コ 首都圏等での就職活動拠点の整備

学生が首都圏や名古屋等で就職活動をする際の拠点施設として、民間サービスを利用した支援を行った。

### (3) 学習支援

図書館の開館時間の延長、**本学独自の奨学金である「スズキ奨学基金奨学金」**や、**日本学生支援機構を始めとする**学習支援に係る奨学金を支給するなど、学生の学習環境整備や支援等を継続するとともに、留学奨励のための海外留学支援特別奨学金制度を新設した。また、精神面の問題を抱える学生や発達障害の学生の修学を支援するために設置した修学サポート室において学生からの相談に対応し、新たに設置した障害学生修学支援委員会において、配慮を必要とする学生への支援を行った。

### (4) 生活支援

生活保護世帯の学生及び経済的に困難であると認められる学生に対する学納金の減免を継続するとともに、カウンセラーによるメンタルヘルスの相談及びランチフォーラムなどの学生相互の交流の場を提供するなど、学生生活向上に結びつく相談及び指導等の支援活動を随時実施した。

### (5) その他

「静岡文化芸術大学の学生の諸活動に対する支援の取扱方針」に基づき、学生の諸活動に対して、12件 2,010千円の支援を実施した。

## 6 交流事業等の実施

### (1) 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野等の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

#### ア 文化芸術セミナー、イベントシンポジウム、公開講座、公開工房、研究成果発表の開催

##### ・文化芸術セミナー

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
10月26日 11月9日 11月16日	講堂	美術と音楽の西洋史 後編【全3回】 第1回「ロマン主義・ロマン派」 第2回「印象主義・印象派」 第3回「現代美術・現代音楽」	115人 95人 70人
11月24日 12月8日	講堂	浜松 楽器の事典 トランペット編 第1章「トランペットとは？」 第2章「トランペットの現在と未来」	140人 160人

・イベントシンポジウム

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
4月1日～ 3月31日	自由創造工房他	産学協同国際デザインワークショップ	40人
4月11日～ 10月31日	コース演習室 自由創造工房	コース演習室スペースデザイン学生ワークショップ	11人
4月13日～ 3月31日	浜松労災病院 駿府博物館 静岡県立こども 病院	静岡ホスピタルアートプロジェクト	900人
5月21日～ 5月25日 11月12日～ 11月17日 ・2月 ・3月	ギャラリー ギャラリー 浜松市役所 大崎ゲートシティホール	ユニバーサルデザイン絵本コンクール2016 及び世界のバリアフリー絵本展 ・世界のバリアフリー絵本展 ・ユニバーサルデザイン絵本コンクール2016 ・ユニバーサルデザイン絵本コンクール2016 ・ユニバーサルデザイン絵本コンクール2016	760人
6月2日 7月23日 10月22日 12月10日 3月25日	281 講義室 講堂 自由創造工房 音楽室 龍山森林文化会館	室内楽演奏会2016 「浜松の音楽イベントを知る、学ぶ」 「音楽の力 高石ともやトークコンサート」 「バンドゥンからの音便り インドネシア・スンダ地方の伝統音楽」 「テルミンの音世界～操られる音、紡ぎださ れる音」 「龍山に響くパイプオルガンコンサート 風と川と音と」	30人 390人 122人 50人 130人
6月12日	浜松市武道場	めばえの親子じゅうどう教室	300人
7月9日	学生食堂	フェスタジュリーナ na SUAC2016	200人
7月9日～ 8月26日	浜松市美術館	仮面ライダー展・ワークショップ	400人
10月14日 1月24日 2月4日	176 講義室 278 講義室 176 講義室	イブニングレクチャー2016 「科学技術時代における人とデザインの関係」 「ユビキタスからデジタルネイチャーへ アート・サイエンス・テクノロジー」 「デザインで、ご飯を食べるということ。」	100人 100人 200人
10月26日～ 11月7日	明治神宮外苑	東京デザイナーズウィーク2016	10万人
12月2日 12月3日	講堂 体育館	イタリア仮面劇の上演とワークショップ ・上演「ドン・ジョヴァンニ ～よみがえる石像の宴」 ・ワークショップ	180人 8人
12月10日	アクトシティ浜 松コンgresセ ンター43・44 会 議室	シンポジウム「フェアトレードとエシカル消 費は社会を変えられるか」	80人
12月14日	講堂	浜松・中山間地域づくりシンポジウム 「まちむらリレーション市民交流会議」	200人

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
2月3日～ 2月7日	ギャラリー	メディアデザインウィーク作品展	300人
2月3日	279 講義室	講演1「グルーヴィジョンズ」	
2月4日	176 講義室	講演2「デザインでご飯を食べるということ」	
2月6日	279 講義室	講演3「ランドスケープのかたち」	
2月6日	280 講義室	講演4「アイデアとクリエイションで突破するコンテンツビジネス」	
2月7日	390 講義室	講演5「ジャズと創造性」	
2月4日～ 2月5日	マルチメディア室	ワークショップ	
3月4日	281 講義室	静岡 Global Student Forum	27人

・公開講座

SUAC前期公開講座：テーマ「オリンピック・パラリンピック関連講座

リオデジャネイロ大会から東京大会へ」

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
7月9日	176 講義室	I リオデジャネイロ大会とブラジル事情	26人
7月16日	176 講義室	II オリンピック・パラリンピックの過去→ 2020年TOKYO→未来 日本のスポーツはど う変容すべきか	41人
7月23日	176 講義室	III オリンピック・パラリンピックの「文化 プログラム」と今後の文化政策	30人

SUAC 後期公開講座：テーマ「国際文化都市としてのパリ」

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
10月8日	281 講義室	絵画と外国人芸術家	44人
10月15日	281 講義室	パリ国際大学都市の経緯と現状	45人
10月22日	281 講義室	モードの都の誕生	40人
10月29日	281 講義室	エスニックシティ・パリ	33人

・公開工房

夏季公開工房

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
8月27日～ 28日	自由創造工房	銅版画を作成しよう	7人
	デッサン室	石膏デッサンを描いてみよう	17人
	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※2日コース	3人
8月27日	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※1日コース	3人
8月28日	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※1日コース	2人

春季公開工房

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
3月18日～ 19日	自由創造工房	銅版画を作成しよう	4人
	デッサン室	石膏デッサンを描いてみよう	15人
	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※2日コース	6人
3月18日	自由創造工房	トールペイントを楽しもう	9人
	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※1日コース	6人
3月19日	自由創造工房	テキスタイル (手織り) ※1日コース	6人

・研究成果発表

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
11月3日	281 講義室	平成 28 年度研究成果発表会	80 人

イ 産学官連携の推進

・研究・開発成果発表会

実施日	場所（会場）	内容等
7月1日	浜松工業技術支援センター	浜松工業技術支援センターが主催する「第9回研究・開発成果発表会～県西部地域の技術連携&産業発展を促進～」に本学の教員が発表者として参加 【発表者】デザイン学科 教授 望月達也 ・ Additive Manufacturing Machine (AMM) と AM-CAM の開発について

・はましんビジネスマッチングフェア 2016

実施日	場所（会場）	内容等
7月20日 21日	アクトシティ浜松展示イベントホール、研修交流センター音楽工房ホール	第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016 に出展（企業紹介ブース）し、大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布や産学連携事業や共同研究等の相談窓口を開設 （256 企業・団体 313 ブース）

・UD+in はままつ 2016

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
8月27日	講堂	UD+in はままつ 2016 シンポジウム 『外出を楽しむ、移動とコミュニケーションのUD支援』 主催：UD+in はままつ 2016 実行委員会 （静岡県・浜松市・静岡文化芸術大学）	140 人
8月28日	浜松市ギャラリーモール「ソラモ」	UD+in はままつ 2016 「展示体験会」 主催：UD+in はままつ 2016 実行委員会 （静岡県・浜松市・静岡文化芸術大学）	4,200 人

・二輪デザイン公開講座

実施日	場所（会場）	内容等
8月29日 30日	280講義室 自由創造工房 総合演習室 クレイモデル室	公益財団法人自動車技術会デザイン部門委員会が主催する「第4回二輪デザイン公開講座」に協力し、本学の施設を提供 講座には、全国のデザイン系 21 大学から選抜された 39 人の学生（うち、本学 3 人）が 2 日間参加し、国内バイクメーカー 4 社の現役デザイナーが直接講座、指導を実施。なお、公開講座のみ一般公開で実施 【内容】 ・デザイン公開講座（対象：一般、学生） ・バイクデザインプロの技講座（対象：一般、学生） ・バイクデザイン基礎講座（対象：学生） ・デザイナーの卵要請講座（対象：学生）

・いわた産業振興フェア

実施日	場所（会場）	内容等
11月11日 12日	アミューズ豊田	第6回いわた産業振興フェアに出展し、大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布や産学連携事業や共同研究等の相談窓口を開設（179 企業・団体が出展）

・いわしんビジネスコンテスト

実施日	場所（会場）	内容等
11月24日	磐田グランドホテル	第15回いわしんビジネスコンテスト（最終選考会） 【協力体制】 審査委員：デザイン学科 教授 黒田宏治 実行委員：静岡文化芸術大学（地域連携室員）

ウ 地域文化事業の実施、協力

・特別公開講座「ロウソク能」

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
10月5日	講堂	第一夜：能講座 『三輪』解説 『三輪神社と神仏』	150人
10月6日	講堂	第二夜：ロウソク能公演 狂言 「金縛り」 仕舞 観世流「高砂」「松風」「融」 能 観世流「三輪」	500人

エ その他

文化・芸術研究センターニュースレター「文化と芸術」の発行

文化・芸術研究センターを拠点として行っている、本学の研究やイベント等の成果や活動内容を紹介するニュースレターとして「文化と芸術」を年2回（9月、3月・各1,200部）発行した。

(2) 国際交流事業

国際交流の推進を図るため、次の事業を展開した。

大学名（国名）	事業内容
湖西（ホソ）大学校（韓国）	交換留学受入・派遣 <受入> 28. 4-29. 3/2名 28. 4-29. 3/1名 28. 10-29. 3/2名 28. 10-29. 8/2名 <派遣> 28. 8-29. 6/1名 29. 3-29. 12/1名 韓国文化体験プログラム <派遣> 28. 8. 20-8. 28/6名
浙江大學城市学院（中国）	交換留学受入・派遣 <受入> 28. 10-29. 9/3名 <派遣> 28. 9-29. 7/1名
フィンドレー大学（アメリカ）	留学生派遣 28. 8-28. 12/1名 28. 8-29. 5/1名



大学名（国名）	事業内容
フランス・ブルゴーニュ大学国際フランス語センター（フランス）	留学生派遣 28. 2-29. 5 / 1名
アイルランガ大学（インドネシア）	交換留学受入 28. 4-29. 3 / 2名
ボローニャ大学（イタリア）	交換留学派遣 28. 9-29. 7 / 1名
イズミル経済大学（トルコ）	産学共同国際デザインワークショップ <受入> 28. 8. 20-8. 25 / 学生8名、教職員1名

### （3）大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

#### ア 図書館・情報センターの開放

実施日	月曜日～土曜日（原則）
実施内容	利用対象者 20才以上の静岡県内在住・在勤者等 利用時間 平日：8時45分～20時、土曜日：10時～16時 利用範囲 図書の閲覧、貸出等 登録者数 487人（平成29年3月末現在） 利用者数 5,376人／年 貸出冊数 2,353冊／年

#### イ 自由創造工房の開放

実施日	月曜日～金曜日（原則）
実施内容	利用対象者：学内者及び会員登録者 活用方法：テキスタイル、木工、PCソフト活用等による創作活動 会員登録者数：6人（平成29年3月末現在、会員期限有効者） ※夏季及び春季に本学教員による公開工房を実施 （参加者数：夏季32人、春季46人）

#### ウ 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。平成28年度には983人の見学があり、うち小・中学校の総合学習（ユニバーサルデザイン施設見学）の場として、14校から884人（引率者除く）の児童・生徒を受け入れた。

## 7 図書館・情報センター事業

「静岡文化芸術大学図書館・情報センター資料収集方針」に基づき資料を収集したほか、図書館・情報センターだより「温故知新」を刊行し、大学内や県内公立図書館へ配布した。また、学部新入生全員を対象に必修科目「学芸の基礎」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法についての講義及び館内ツアー等を実施したほか、学内イベント関連等の企画展示を行った。

運営面では、開館時間の延長（開館時刻の繰り上げ・閉館時刻の繰り下げ）を引き続き実施した。また、本学教員による特別研究「eBookを活用した授業の可能性を考える」に協力し、電子書籍（eBook）のサービスを開始した。サービス開始に向けた手続きや設定などの準備面のほか、

eBook を活用した授業に出向いて学生に使い方を説明するなど、運用面での協力も行った。

・図書館・情報センター資料所蔵数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	図書 (冊)	視聴覚資料 (点)	雑 誌 (種)
日本語資料	204,464	6,471	1,321
外国語資料	24,061	849	238
合 計	228,525	7,320	1,559

・図書館・情報センター利用状況 (平成 28 年度)

区 分	入館者数 (人)	貸出冊数 (冊)	開館日数 (日)
総 数	110,864	35,362	286
(うち学生)	98,113	28,869	—

・他の図書館との相互協力 (平成 28 年度)

区 分	資料貸借 (件)	文献複写 (件)	備 考
依 頼	75	492	—
受 付	62	153	—
合 計	137	645	—

## 8 英語・中国語教育センター事業

### (1) 英語・中国語の学習支援活動

次のとおり学習支援活動を実施した。

ア 英語・中国語教育センターイベント

各種学習サポート、Book Club、Movie Club、英語ランチ、中国語コーナー、ESS、オープンキャンパス参加等、

イ インターナショナル・コミュニティー・フォーラム

浜松在住の外国籍の方をゲストスピーカーとして招き、英語による各国の紹介、ディスカッション、質疑応答を年間 6 回行った。うち、2 回は学外者にも公開した。

ウ センター・ニュースレター等の発行

ニュースレター、イベントカレンダー (毎月)、センターパンフレット (年度初め) の発行を行った。

エ 検定試験対策

TOEIC テスト対策として試験の準備・対策、12 月中に 6 回にわけて行った。年間 4 回の TOEIC IP テストを行い、うち 4 回目である 12 月には、教育効果測定のため必修英語履修者の全員受験を実施した。また、IELTS 試験受験希望者に対して試験対策を行い、検定料の助成をした。

中国語検定試験対策として個別指導等を行った。12 月に、HSK 中国語検定試験を学内でを行い、教育効果測定のため必修中国語履修者の全員受験を実施した。

オ セミナー・個別相談

随時、留学準備のためのセミナーや、科目支援等の個別相談を行った。

カ 各種コンテスト参加

- ・英 語 模擬国連大会 (京都外国語大学)、Asia Community Engagement (近畿大学)
- ・中国語 江蘇杯 中国語スピーチコンテスト (愛知大学)
- 全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会 (静岡文化芸術大学)

- キ デザイン・ゲート（デザインを学ぶ学生のための英語学習モデル）  
専門科目内での英語プログラムの試行、他大学の専門科目への英語教育導入事例の調査等を行った。その成果として、デザインの専門用語を英語で紹介し、デザイン学部学生の英語教育導入の一助となる英語教材『Design English』として出版した。
- ク 卒業生と語る会  
リカレント教育試行の一環として、留学経験があるなど、外国語を使った職業で活躍している卒業生を講師として招き、講演会を年間2回行った。

**(2) その他の活動**

- ア 小中学校との交流  
浜松市内の小中学校への訪問及び小中学校の来学により交流活動を年間2回下記のとおり行った。
  - ①English Workshop for Kids～英語で遊ぼう～  
浜松市と大学との連携事業として、小学生児童を対象とした英語体験を実施。本学学生14名、小学生（1～6年生）20名程度が参加した。
  - ②浜松学院中学校との英語交流活動  
浜松学院中学校3年生を招待して、英語コミュニケーションをロールプレイで体験するワークショップを実施。本学学生20名が参加した。
- イ 静岡グローバル学生フォーラム  
近隣の高校生15名、大学生（本学12名、その他1名）を参加者として国際問題への理解と英語を使ったコミュニケーション能力と交渉スキルの向上を目指し、英語でのディベート大会を行った。
- ウ レゴ・シリアスプレイ・ワークショップ  
外部より講師を招き、レゴを使った英語のトレーニングを行った。

**9 情報システム等の整備**

- (1) 学内ネットワーク装置の更新  
機器の更新時期を迎えた学内ネットワークサーバ、ネットワーク機器等の更新を行った。
- (2) 学内ネットワークの管理運営  
学内システムの管理及び情報セキュリティ対策を行った。

**10 自己点検・評価の実施**

- (1) 全学的な点検・評価  
6月に認証評価機関に自己評価書を提出し、10月に訪問調査を受けた。その際、指摘された事項に関し改善策を整理するとともに、対応可能なものについては速やかに改善を行った。認証評価結果については、自己点検・評価委員会で報告し、速やかに学内外に公表した。
- (2) 学生による授業評価  
学生による授業アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図った。また、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の授業に対する姿勢・態度等への反省や、授業への期待・意欲を高める機会とした。

・平成28年度後期分の概要

区分	内容等
対象科目	後期科目302科目のうち299科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率99.0%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「学習の成果」「授業の運営」「総合評価」「自由記述」など10問程度
回答率	81.3%
総合評価	4.2<5点満点での評価による>

## 11 SD（スタッフ・ディベロップメント）への取り組み

事務職員の研究・研修助成制度の活用を促進したほか、公立大学協会やふじのくに地域・大学コンソーシアム等の外部団体主催の研修会に積極的に参加してSD活動の推進を図った。

## 12 防災対策の実施

### （1）防災訓練の実施

学生、教職員、来学者等を対象とした避難訓練を授業時間中に実施した。

### （2）安否確認システムの運用

平成 25 年度に導入した安否確認システムを避難訓練時に運用し、学生・教職員の安否状況の把握や防災情報の配信が正常に稼動することを確認した。

## 13 ハラスメント防止対策の実施

教職員については、開学記念式典の学長訓示での啓発、防止啓発リーフレットの配布、ハラスメント研修（12 月）を実施した。

学生については、4 月のガイダンスでの学生部長による相談体制の説明、防止啓発リーフレットの配付、ハラスメント研修会の実施、学生生活調査（ハラスメント関連の質問項目の追加）等を実施した。

平成 28 年度 事業別執行額の状況

(単位：千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容
教育研究経費	教育経費	入試経費	13,261	試験問題作成費、試験実施経費
		FD 活動経費	1,738	学科別研修会開催経費ほか
		学生経費	62,942	教材購入費、教育備品修繕費ほか
		教育施設等修繕・管理経費	146,295	水道光熱費、設備管理委託費ほか
		工房系教室情報システム経費	89,009	情報システム機器リース経費
		学生支援経費	26,897	授業料減免、奨学金給付経費ほか
		就職支援事業費	13,039	企業等訪問、就職ガイダンス開催経費ほか
		地域貢献事業経費	8,276	自由創造工房開放、公開講座、実施経費ほか
		国際交流事業費	15,847	外国大学との交流事業経費ほか
	研究経費	教員研究費	96,227	専任教員の教員研究費ほか
		文化・芸術研究センター管理運営経費	1,934	印刷物発行経費、センター管理経費ほか
		教員研修費	1,607	専任教員の国内外での研修費
	教育研究支援経費	図書館経費	30,982	図書館施設管理費、図書購入費ほか
		情報システム経費	106,878	情報システムのメンテナンスほか
	教員人件費	教員人件費	963,563	専任教員等の人件費
		非常勤教員経費	61,280	非常勤講師等の報酬
一般管理費	管理経費	大学広報経費	29,702	大学パンフレット作成費、広告、掲載経費ほか
		教職員住宅経費	21,763	職員住宅維持管理費、借上住宅賃借料ほか
		施設・設備等修繕・管理経費	108,897	施設修繕費、警備、設備管理、委託費ほか
		大学運営一般管理費	44,254	事務局消耗品、電話料、複写機、使用料ほか
		学生募集経費	16,579	募集要項、受験情報誌等広告、説明会開催経費ほか
	役員報酬	役員報酬	47,517	常勤役員及び非常勤役員等の人件費
	職員人件費	職員人件費	494,034	常勤職員等の人件費
施設整備費			16,848	施設整備費等事業費補助金による施設整備
受託研究等経費			15,274	学外機関からの受託研究、受託事業経費
合計			2,434,643	

\*表示単位について

金額は千円未満を四捨五入で表示しているため、合計金額と一致しないことがある。

(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

1 第8回静岡国際オペラコンクール開催準備

- (1) 実行委員会・企画運営委員会・推進委員会等の開催
- (2) 応募に係る業務
  - ・応募要項の決定
  - ・応募要項記者発表 平成28年9月13日(火) 静岡県庁  
平成28年9月14日(水) 都道府県会館(東京都)
  - ・応募受付 平成29年1月4日(水)～平成29年5月1日(月)

2 オペラ県民講座の開催

- (1) 期日・会場
  - 平成28年10月9日(日) 本学講堂
  - 平成28年10月29日(土) 沼津市民文化センター小ホール(沼津市)
  - 平成28年10月30日(日) しずぎんホールユーフォニア(静岡市)
- (2) 出演者
  - ナビゲーター: 三浦安浩(演出家、全会場)
  - 歌 手: 長瀬千賀子(全会場)  
竹内利樹(浜松、沼津)  
大石陽介(静岡)
  - ピアノ: 星和代(全会場)
- (3) 入場者数等  
総募集定員 1,520人、総申込人数 1,611人、総入場者数 1,230人